

検査の特徴

マンモグラフィとは

乳房のレントゲン写真のこと。乳房を専用の機械で挟んで撮影します。その際、乳房をしっかりと引き伸ばすため痛みを伴うことがあります。

長所: 乳腺のしこり・石灰化がわかる
乳房全体を両方同時に見られる
検査(撮影)時間が短い
閉経後の年代に適している(乳腺が張らなくなるため)
公費で受けられることがある

短所: 乳腺自体が全体的に白く写るため乳腺が豊富な方は病変が隠れてしまうことがある
しこりの良性・悪性などの判断が難しい

乳腺エコーとは

乳房に超音波をあて、跳ね返って来る信号で乳腺の断面を観察できます。乳房の表面にジェルを塗って器具を当てるだけなので痛みはありません。

長所: 乳腺に埋もれている病変を発見できる
身体への苦痛が少ない

乳腺は白く病変は黒く映るので、若年層でも病変を見つけやすい。

短所: 一度に乳房全体が見渡せない
小さい石灰化が分かりにくい⇒癌による石灰化を見つけにくい
マンモグラフィに比べて検査時間が少し長い



若年層でもマンモグラフィで石灰化を確認することができます。
石灰化とは・・・
乳腺にカルシウム(Ca)が沈着した状態。
本来Caは乳腺にないのが正常ですが
乳腺が分泌する母乳にはCaが含まれている
ため乳腺とCaは縁が深いと言えます。
乳腺にCaを沈着させる原因はいくつか
考えられますが、そのひとつに乳癌の可能性
があるため、石灰化をみつけたら癌によるもの
でないかの確認が必要になります。

視触診とは

視診とは見て分かる変化です。
皮膚の変化(荒れている、赤くなっている、腫れているなど)
乳房の形態の変化(左右差、ひきつれなど)
その他、みて分かる変化も多数あります。

触診は乳腺やわきの下を触って変化をみる方法です。
しこりやリンパ節の腫れ
乳頭からの分泌
その他の変化を見ます。